

老 健

No.75
2025.3

さきたまだより



Contents

- ◆ 今後の老健が果たすべき役割
会長 荒船丈一 …… 2
- 「会長表彰」受賞者 優秀演題 …… 3
- ◆ 第29回埼玉県介護老人保健施設大会
…………… 4・5
- ◆ 老健ひろばを開催しました …… 6・7

- ◆ 高齢者にお勧めの転倒予防体操 … 8・9
埼老健協会災害対策委員会 …… 9
- ◆ お口の健康 …… 10
- ◆ 施設紹介と大好評レシピ 桜もち
…………… 11
- ◆ 埼老健介護百人一首優秀歌 …… 12

今後の老健が果たすべき役割

会員の皆さま、日頃より格別のご高配とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

令和6年度も多くの皆さまのご協力とご理解を得て、地域に根差した取り組みを一層進めることができました。特に、地域との交流や老健の役割の理解促進を目指し開催した「彩の国老健ひろば」は、東部地域住民の皆さまと共に介護予防や福祉サービスに関する知識を深め、老健施設としての役割や地域との連携の重要性を改めて確認することができました。

また、埼玉県老健大会では「地域と共に歩む老健を目指して」老健に求められる多様性を考える」というテーマの下、老健に関わる職員が一堂に会し、医療・介護・福祉の増進に貢献するための研究や発表が行われました。生産性向上を図る機器等の展示も行われ、今後の介護現場における効率

化やサービス向上に寄与する可能性が示され、深い洞察と知見を得ることができ、非常に有意義な機会となりました。

これからも地域密着型の支援を進め、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境の提供を持続していくためにも、老健職員一人ひとりが更に専門性を高め、知識と技術を更に向上させることで、より質の高いサービスを提供できるよう努めます。

さて、介護保険法の改正により、平成29年から介護老人保健施設（老健）は「在宅復帰・在宅支援」を主な役割とする施設へと位置づけられました。これにより、従来の「生活の場」としての機能から大きく転換し、三大介護施設をはじめとする多様な介護施設の中で唯一、在宅支援機能を担う施設となりました。

今後は総人口数も2005年の

約1億3千万人から2060年には約8千万人と

3分の2に減少し、生産年齢人口は約3割減少すると予測されています。そのような中で、人口増加地域では、120万人規模の都市に30万人の高齢者が暮らす一方、人口減少地域では3万人の地域において、約1万人が高齢者という状況が待ち受けており、地域ごとに異なる課題も顕在化していきま

す。こうした厳しい現状の中、超高齢社会はますます加速化し、85歳以上の高齢者は2040年以降も増え続け、介護を必要とする方々が急増していきます。国の推計では、2040年には75歳以上の要介護高齢者が約900万人に達し、そのうち500万〜600万人の方が自宅で介護を受けることになるの見込まれています。

老健施設は、在宅医療・在宅介



公益社団法人
埼玉県介護老人保健施設協会

会長 荒船 丈一

護と医療機関をつなぐ「架け橋」として、これまで以上に重要な役割を担います。特に、「総合医学管理加算」による軽度の医療ニーズへの対応や、「ターミナルケア加算」による看取り支援など、医療と介護の複合的なニーズに対応できる体制が求められています。さらに2030年以降は毎年約140万人が亡くなる「多死社会」を迎えるなか、地域の在宅療養を支える最後の砦として、老健の存在意義はますます高まっています。

今後も地域とともに歩み、医療・介護・福祉の三方向から高齢者を支えるという老健本来の使命を果たしてまいりますので、引き続き皆さまの深いご理解と温かいご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

令和6年度「公益社団法人埼玉県介護老人保健施設協会 会長表彰」受賞者

永年勤続表彰

五十音順（施設名・敬称略）

施 設 名	受賞者	施 設 名	受賞者
愛	吉田 恭子	春陽苑	田中多美子
愛	中古味 斉	春陽苑	小西 佳子
あさがお	杉野 理恵	翔寿苑	常山 裕子
あさがお	金子 明美	翔寿苑	倉川嘉代子
あすかHOUSE松伏	洞下 美咲	逍遙の郷	根岸 裕幸
あすかHOUSE松伏	今井嘉代子	尚和園アンシャンテ	尾崎由美子
いこいの家	籠宮 佳子	尚和園アンシャンテ	山田 浩二
いこいの家	竹内 敏之	鶴ヶ島ケアホーム	吉川 洋好
いづみケアセンター	小川のり子	鶴ヶ島ケアホーム	福原 秋子
いづみケアセンター	小川 陽子	なでしこ	桑波田正代
いるまの里	都築佐知子	なでしこ	荒船 裕朗
いるまの里	浅見 恵子	なのはなの里	田中ひろみ
岩槻ライトケア	島村 郁江	なのはなの里	足利ひとみ
岩槻ライトケア	飯村 明美	飯能ケアセンター楠苑	長谷川貴子
鶴寿の里ナーシングホーム	加藤 美春	飯能ケアセンター楠苑	山田真由美
鶴寿の里ナーシングホーム	宜野座キミ子	東松山市総合福祉エリア	浅見 哲史
上福岡リハケアセンター	清水 繁男	東松山市総合福祉エリア	吉田 光
さんもくせい	今井早久恵	日高の里	斎藤 真弓
さんもくせい	小野 優貴	日高の里	大田佐知江
ケア・ビレッジ シャローム	和合 美希	プライムケア川越	石田 浩
ケアパーク江南	田島けい子	プライムケア川越	諏訪 照美
ケアパーク江南	薩摩 文江	FOMA・なごみ	松島 亮尚
厚生会川口ケアセンター	久高有美子	FOMA・なごみ	富岡 喬
厚生会川口ケアセンター	早福 淳子	三郷ケアセンター	篠田 陽子
高齢者ケアセンターのぞみ	小口 崇	三郷ケアセンター	熊谷 穂
高齢者ケアセンターのぞみ	田中 克弥	みどりの館	村上恵美子
高齢者ケアセンターゆらぎ	四十住さゆり	みどりの館	熊坂由美子
高齢者ケアセンターゆらぎ	横尾 雄介		

第29回埼玉県介護老人保健施設大会 研究発表優秀演題

幸せな看取り

～施設職員のACP意識調査からわかること～

鶴寿の里ナーシングホーム
看護師

島田 和子

老健における骨々（コツコツ）ケアへの気づき

～骨粗鬆症チーム立ち上げから未来へ～

翔寿苑
管理栄養士

大山 祥子

脳血管障害男性に対する経口摂取促進に向けた
チームアプローチの報告

シルバーケア敬愛
介護福祉士

高橋 智子



第29回 埼玉県介護老人保健施設大会

「地域と共に歩む老健」を目指して ～老健に求められる多様性を考える～



特別講演

東洋大学 福祉社会デザイン学部
社会福祉学科 早坂聡久教授

特 別講演は、東洋大学教授早坂聡久教授による「老人保健施設の歩みと今後の展望」。五つのテーマに沿って熱い思いを伝えてくださいました。印象に残ったのは単身高齢者の急

最 後に埼玉老健介護百人一首の表彰が行われました。昨年より百首以上も多い四百四十七首の応募があり、その中から優秀歌十首が選ばれました。受賞者代表として、西久保由起子さんに賞状と記念品が贈られました。西久保さんは昭和五十年から短歌を始め、歌集も出されているとのこと。短歌はご自身の生きがいで、「いるまの里」では五時に起床し、静かな空間で短歌を詠んでいるそうです。スタッフの方がよくやってくれるので感謝の気持ちでいっぱいですと受賞の喜びを伝えてくださいました。

増と介護サービスの縮小でした。二〇五〇年に向けて未婚の単身世帯増加に伴う身寄りのない者の増加が引き起こすさまざまな課題が示されました。特に急増する身寄りのない認知症高齢者への対応は、今後の高齢者施策の最大の課題の一つとなることでした。実際、介護保険制度だけでは要介護・要支援高齢者の暮らしを支えることは不可能で、住む場所の確保や日々の買い物・食事・入浴などはもちろん、入院・入所時の手続きや意思決定、金銭・退院・退所後の生活支援、死後の手続きや財産等の処分、これらに係わる公的手続などが考えられるが、そこに老健がどのように係るのが重要だとのことでした。

今 回は前回以上に多くの施設から参加があり、コロナ禍以前の状態に近づいてきていると感じました。普段、他施設との交流や取組がわからない中、たくさんの仲間から多くの気づきや学びが得られる場所だと思っています。来年度はぜひ、あなたも足を運んでみませんか。会場お待ちしております。

(ケア・ビレッジ) シヤローム
野呂 牧人



埼玉老健百人一首
優秀歌受賞者
左：荒船丈一会長
右：西久保由起子さん



あ いさつでは、「昨年は、パリ五輪の日本選手の活躍に「挑戦することの大切さ」を改めて気づかされた。一方、七月の秋田・山形豪雨、八月の台風十号による宮崎豪雨、大会当日も岩手県大船渡で延焼中の山火事など大規模な災害が発生した。亡くなられた方のご冥福と被災された方たちへのお見舞いを申し上げる。避難を余儀なくされた高齢者施設もあったと聞き、改めてBCPの取組が重要である

東 会長からは、「医療・介護・障がい」報酬同時改定があり、初めて介護報酬が医療よりも高い改定率を実現できた。一方で、老健で働く人の賃金の改定率は一般の四・四五%より低いと指摘された。

午 後は、三会場に分かれて口演発表とポスターセッションが行われました。どの会場もほぼ席が埋まり、熱い質疑応答が交わされました。それぞれの発表は、働きやすい職場作りや地域とのつながり、排泄や食事、リハビリの工夫など多岐にわたりました。

埼玉ROKEN
くん



ま ず、大野元裕埼玉県知事（代理 武井裕之地域包括ケア局長）「東憲太郎全老健会長（代理 小川勝常務理事）を来賓に迎え、開会式が執り行われました。冒頭、荒船丈一会長から漆原名誉会長と共に協会の立ち上げ、発展に寄与され、多くの優秀な人材を育てられた元理事の平川汀子氏が一月末に急逝されたことと報告があり、参加者一同で黙とうを捧げました。

大 野知事から「一月に八潮市で発生した道路陥没事故に対してお詫び申し上げます。老人保健施設は、共生社会を進めていく中で重要な仕組みである地域包括ケアの要であり、働く皆さんが知識、技術を高め、質の高いサービスが提供できるよう大きな期待を寄せている」と祝辞をいただきました。（武井裕之地域包括ケア局長代読）

続 いて表彰式が行われ、二十九施設五十五名の仲間が永年勤続表彰を受賞し、高齢者ケアセンターのぞみ田中克弥氏に代表として賞状と記念品が荒船会長より贈呈されました。田中氏からは「多くの仲間を支えられ、コロナ禍の中、不安と闘っていた。職員同士のコミュニケーションもままならず、他施設との交流もなくな



荒船丈一会長



内田三千則理事

と確認できた。また報酬改定では生産性向上推進体制加算が新設され

りも低い二・五二%であり、介護を担う働き手が増える要素は乏しい。そのため、生産性向上推進体制加算の算定とともに、現在の平均稼働率八十%台を少しでも増やし、増収できるような地域と連携し、地域包括ケアシステムの中心として役割を果たしてほしい。」とメッセージをいただきました。代読された小川理事は埼玉大会には何度か足を運んでおり楽しみにしてきた。今回、自身が発案した「ROKENく



埼老健
第17回
令和6年
11月27日

彩の国

老健ひろば

----- 住み慣れた地域で安心して
楽しく生活できるようお手伝い -----



③各種相談

▶ 医師による健康相談



管理栄養士の 栄養相談



▶ 介護なんでも相談



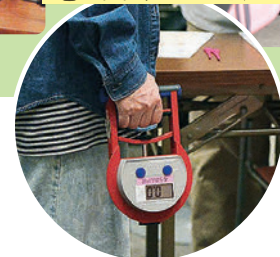
①健康測定



血管年齢測定



②体力測定



⑦お家でできる健康体操



④作品作り (リハビリ職)



⑤施設紹介



⑥災害対策



▶ 簡易トイレ紹介



令和6年11月27日（水）第17回「彩の国老健ひろば」を草加市のアコスホールで開催しました。

「彩の国老健ひろば」は介護老人保健施設の役割を県民の方に理解していただくとともに、高齢者もその家族も住み慣れた地域で安心して楽しく生活できるように支援することを目的として、平成16年度から県内各地で開催してきました。

催しの内容は介護老人保健施設に勤務する医療・介護・福祉の多職種の特徴を生かし、

- ①健康測定（血圧、動脈硬化指数、骨密度、聴力、脳の健康チェック）
 - ②体力測定
 - ③各種相談（医師・看護師による健康相談、管理栄養士の栄養相談、支援相談員の介護なんでも相談など）
 - ④作品作り（リハビリ職と一緒にクリスマスオーナメント制作）
 - ⑤東部地区の施設紹介
 - ⑥災害対策
 - ⑦簡単！！お家でできる健康体操
- など7つのブースを設けました。

災害対策ブースでは、草加市の災害マップを使って、どの場所がどの災害に弱いのかを学び、災害時に役立つトイレの紹介も行いました。

簡単！！お家でできる健康体操では介護予防運動指導員による毎日続けることのできるストレッチや体操を来場の皆さんと一緒に行いました。心も身体もリフレッシュされ、大変盛り上がりしました。

来場者の皆様は各ブースで健康測定し、その結果を持って相談コーナーを訪れ一喜一憂し、制作した可愛いクリスマスオーナメントや災害時の保存食をお土産に笑顔で会場を後にされ大盛況で幕を閉じました。

この「彩の国老健ひろば」は、ご自身の健康や介護施設に関するさまざまな情報を体験し、学べる楽しい催しです。

次回の開催日程や場所が決まり次第、ホームページなどでお知らせいたしますので、ぜひお近くの方々はお気軽にお立ち寄りください。（翔寿苑 岩野 亜紀）

高齢者にお勧めの転倒予防体操

歩行の概要

普段私たちは何気なく歩くという動作を行っていますが、実は非常に高度な身体の使い方をしています。加齢等、様々な理由から歩行の機能が低下してくることが知られており、もし転んでしまった場合1～2%程度の確率で骨折などの重篤な外傷を負う可能性があると言われています。

筋トレだけじゃダメ！

歩行機能が低下すると筋肉を鍛えるというイメージを持っている方が多い様子ですが、それだけでは足りません。実は通常の歩行時、特定の筋肉を除いて殆どの筋肉が最大出力の2～3割程度の力しか出していないという研究結果も報告されています。

歩行と感覚の関係性

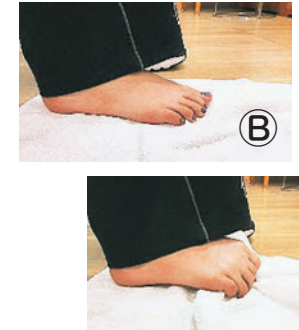
人間は歩く際に足裏を始めとした全身からの情報を感覚として受け取り、筋肉等の微調整をしながら歩いています。病気や加齢、血流循環の不良等の諸所の原因により感覚が低下すると身体はどう動かせばいいか分からなくなってしまいます。健康な人で例えるならば正座を長時間した後の痺れた足でいつもと同じように歩けるでしょうか？足の感覚がなくなり、自分の足の位置が分かりにくくなりませんか？結果、ごちなく歩くしかなかった経験がある方も多いと思います。

トレーニング方法

それでは、椅子に座ったままでも行える、お勧めのトレーニングをご紹介します。
ご自宅で簡単に実践できるものなので、ぜひ参考にしてみてください。

座 位

①タオルギャザー：椅子に座った姿勢で靴下を脱いで裸足となり、床に手ぬぐいサイズのタオルを敷きます（A）。そのタオルを足の指を動かして手前に手繰り寄せ、それを繰り返します（B、C）。



②座位足踏み：椅子に座った姿勢で足音が鳴るように足踏みをします。お尻や足裏に掛かる荷重の感覚を意識しながら行ってください。背もたれから背中を浮かせたり、腕を胸の前で組んで行うとより効果的となります。



立 位

つま先立ち：壁や手すり等、安定した支持物に軽く手を添え、踵を床から離してつま先立ちをします。その際、伸びあがる様にお尻に力を入れ、身体を一直線、若干前気味にします。動作はなるべくゆっくりと行い、体重の掛かる位置が足裏からつま先に移行する感覚に集中して下さい。



まとめ

歩行は様々な要因に影響を受けやすい動作です。もし歩行について分からない事、不安な事があれば介護老人保健施設には必ずリハビリテーションの専門家がいますので、是非ご相談ください。

(介護老人保健施設 なでしこ 理学療法士 根本 一成)

埼老健協会災害対策委員会 ～活動の振り返りと本年度の指針～

昨年度、私たち災害対策委員会では、自助（BCPの活用）と共助（会員施設の横の繋がりを深める）をテーマとし、活動に努めてまいりました。BCP（事業継続計画）については研修会を開催、討議を通じて各施設の取り組み内容の共有や、疑問点の解消を図り、11月に草加市で行われた老健ひろばでは、市周辺で起こりえる災害の周知や、手作り災害用具の体験会を企画し、参加された皆様へ災害に対する備えの大切さを呼びかけました。

本年度では、自助と共助を引き続き掲げ、企画を練っていく方針です。BCPについては、施設内訓練や研修を重ねて施設に合ったものに洗練していく必要があります。その一助となるため、本年度も6月、12月にBCP研修会を予定しております。

ます。

また本年1月、八潮市にて下水道管の破損による大規模な陥没事故が発生し、節水や排水を控える通達を受け、生活に影響が出た近隣住民や施設があったと存じます。災害は時と場所、原因を選びません。様々な想定を行い、平時から考え、準備を進めていきましょう。当委員会ではそういった災害について共に考えていける仲間を心よりお待ちしております。



災害時の手作りトイレ

(災害対策委員会)

お口の健康

～いつまでも美味しく食べられる“健口”づくり③～

◎はじめに

いつまでも美味しく食べられる“健口”づくりをテーマにお伝えしてきました。
最終回は「口腔トレーニング」についてです。



◎口も運動不足!?

口腔のトレーニング?と思われるかもしれませんが。顔から頭、首にかけて30種類以上の表情筋があり、さらに舌は主に筋肉で構成されています。最近では口腔機能が低下すると誤嚥性肺炎だけでなく認知症のリスクが高まると言われています。口腔も足腰と同じようにトレーニングをすることで鍛えることができます。

◎今日からできる!! 口腔トレーニング◎

《おでこ体操》

主な目的：喉の筋肉を鍛える
(飲み込む力を付ける)

方法：

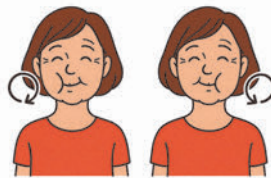
- ①手の平の付け根あたりを、おでこに付ける
- ②おへそを覗き込むようにあごを引く
- ③おでこと手の平を押し合っ
そのまま5秒キープ



※のど仏あたりに力があるように
※息は止めない

※注意：高血圧や頸椎症の方は
かかりつけの医師にご相談く
ださい

《ベロまわし体操》



主な目的：むせ予防
滑舌が良くなる

方法：

- ①口を閉じて、上下の唇を押し
出すようにぐるりと回す
- ②時計回り、反時計回りに行
(各5回)

※注意：顎に痛みがある場合や
過剰に行うことは控えて下さ
い

《ぶくぶく体操》



主な目的：口周りの筋力強化

方法：

- ①唇を閉じる
- ②両頬をふくらませ、ぶくぶく
を10回行う

★少量の水を使用する、片頬ずつ
ぶくぶくする、速度や強さなど
色々アレンジできます

※注意：水分を使用する場合は
誤嚥に注意して下さい

《生活の中で口腔トレーニング》

一般的には食事の前などが効果的と言われていますが、毎日少しずつでも継続して行うことが大切です。自分の体調に合わせて回数を調整したり、トレーニングのタイミング(決まった時間や簡単な内容など)を見つけるのも1つです。また食事をよく噛むことやいつもより丁寧な歯みがきをするのも口腔のトレーニングになります。



◎さいごに…

食べることや話すことは日々の生活に欠かせない大切な機能です。

口腔の機能を十分に発揮するためにも…ぜひこの機会に口腔トレーニングを
始めてみませんか??

お口の健康で体も心もイキイキとした毎を送りましょう!!



(介護老人保健施設 愛 言語聴覚士 中西 敦子)

介護老人保健施設 ろうけん戸田 へようこそ

いつまでも元気で、口から食事を摂れることが人としての喜びだと思います。おいしく食べ続けられること、食事を楽しいと感じてもらえることを第一に、ろうけん戸田では献立を組んでいます。そして日々のミールラウンドで、ご利用者様の食事の表情をしっかり観察するのです。

ミールラウンドに上がると、「ここの食事とリハビリがすごく楽しみ」「次の献立、まだないの？」なんて言葉をよく聞かせてもらいます。献立にメリハリをつけるために、誕生日を迎える方のリクエストを聞き取ったり、毎月のフロアイベントに合わせて行事食を提供するなど、季節感も大切にしています。

まだまだチャレンジできることがあるのかも？もっとおいしくできるかも？

これからも工夫して、ご利用者様が楽しい・嬉しいと感じられる食事を提供していきます。



季節に合わせた献立も！



敷地内には
毎年立派に咲く
桜の木が！



園芸部で育てた
ゴーヤを収穫！
お味はもちろん！

モグラたたきならぬ
芋たたき大会開催！



新年は戸田神社
でお参り

大好評！てづくり桜もち

【材料】（5個）		粒あん	150g
白玉粉	20g	桜の花びら塩漬け	4g
水	40g	（適宜増減OK）	
砂糖	小さじ1/2		
ホットケーキMIX	50g	食紅（赤色）	適量
豆乳（牛乳可）	50g	水	適量
		（なくてもおいしい。）	

お茶と一緒にどうぞ♪



【作り方】

- ①桜の花びらは水に漬け塩抜きをする。水気をよく絞り、みじん切りにした後、粒あんと混ぜる。
- ②ボウルに白玉粉・砂糖を入れ、少しずつ水を入れて混ぜていく。
- ③別のボウルにホットケーキミックスと豆乳を入れ混ぜ、②と合わせる。
- ④食紅を水に溶かし③の生地になんて混ぜていく。色はお好みで。（桜色がオススメ♪）
- ⑤150℃に温めたホットプレートで、④の生地を好みの大きさに薄く焼く。
* 生地は楕円形にしたり、小さく丸く焼いてどら焼き風にしても良い。
- ⑥表にぶつぶつができた状態で裏返し、両面に少し焼き目がついたら出来上がり。
- ⑦焼いた生地に桜あんを挟んで完成。

（戸田市立介護老人保健施設 管理栄養士 東 理恵）

埼玉老健介護百人一首優秀歌

小谷あゆみ賞

この世をば介護する人受ける人思いやりあり愛の道なり

奥平 美夫（いづみケアセンター）

手を引かれ母と歩んだアーケード今は私が押す車椅子

近藤 未来（みどりの杜）

長年の介護に感謝ありがとう生かされて我百歳目指す

木村 光代（FOMA・なごみ）

残生を未来に変える自主トレに意欲をもやす片麻痺の吾れ

西久保由起子（いるまの里）

また来るよ後ろ髪引く寂しいと聞こえた声に涙が落ちた

浅賀 美希（なでしこ）

夕暮れに家に帰ると歩き出す愛しき人の姿探して

國吉美由紀（上福岡リハケアセンター）

リハビリに社交ダンスも取り入れて遅いリズムにチークを期待

吉倉 高志（厚生会 川口ケアセンター）

亡き父の額に汗しりハビリに励みし姿今も背を押す

石田 明子（いづみケアセンター）

握手して幾度も帰る伝えるも一度掴んだその手離れず

井上 博之（いづみケアセンター）

サボる理由考え妻に却下されデイ来てみたらリハに打ち込む

北田 美紀（翔寿苑）

ねたきり^{ゼロ}への10か条

編集後記

さきたまだより七五号いかがでしたか。
春は新たな一歩を踏み出す時期。別れと出会いの機会も増える頃です。やりたいこと、会いたい人、思い立つたらやってみようがいいなと最近思います。
来年の老健大会は三十回の記念大会となります。いつか発表するために、まずは発表を聞いてみませんか。多くの仲間の参加をお待ちしております。（野田）

- | | | | |
|-----|------------------------------------|------|---------------------------------------|
| 第1条 | 脳卒中と骨折予防
ねたきり ゼロへの第一歩 | 第6条 | 「手は出し過ぎず目は離さず」が
介護の基本 自立の気持ちを大切に |
| 第2条 | ねたきりは ねかせきりから作られる
過度の安静逆効果 | 第7条 | ベッドから移ろう移そう車椅子
行動広げる機器の活用 |
| 第3条 | リハビリは早期開始が効果的
始めようベッドの上から訓練を | 第8条 | 手すり付け 段差をなくし 住みやすく
アイデアいかした住まいの改善 |
| 第4条 | 暮らしの中のリハビリは
食事と排泄、着替えから | 第9条 | 家庭でも社会でも 喜び見つけ
みんなで防ごう閉じこもり |
| 第5条 | 朝起きて、まずは着替えて身だしなみ
寝・食分けて生活にメリハリ | 第10条 | 進んで利用 機能訓練 デイ・サービス
寝たきりなくす人の和 地域の和 |



公益社団法人 埼玉県介護老人保健施設協会

（事務局）〒368-0072 埼玉県秩父郡横瀬町横瀬5850

介護老人保健施設 なでしこ内

TEL. 0494-53-9090 FAX. 0494-53-9050

URL: <http://saitamaroken.jp/> E-mail: info@saitamaroken.jp

毎月15日はいい介護 老健の日
利用者の幸せサポート 埼玉老健

表紙の写真：翔寿苑の皆様